

<福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(6月29日 午後3時現在)

平成23年6月29日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 6月29日午後1時49分、原子炉注水量の低下が確認されたため、給水系配管からの注水量を約 $3.5\text{m}^3/\text{h}$ に調整しました。
現在の注水量は、給水系配管から約 $3.5\text{m}^3/\text{時}$ です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在、外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
6月23日午後6時27分、1号機の原子炉へ注水している電動ポンプにより1号機および2号機の原子炉へ注水するように注水ラインを変更し、2号機に注水していた電動ポンプを停止しました。
現在の注水量は、給水系配管から約 $3.5\text{m}^3/\text{時}$ です。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約 $9\text{m}^3/\text{時}$ です。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。

- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月29日午後2時45分、仮設の電動ポンプによる3号機への注水を開始しました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

その他

- ・ 4月26日午後1時30分、構内において放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。
- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月22日午前9時56分、2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時より滞留水処理施設において滞留水の処理を開始しました。
- ・ 6月27日午後4時20分、原子炉への注水について、ろ過水タンクからの注水に加え、滞留水処理施設で処理した水を利用し循環注水冷却運転を開始しましたが、午後5時55分、処理水タンクと原子炉注水ポンプの間の配管継ぎ手部からの漏えいを確認したため、処理水の供給ポンプを停止しました。その後、漏えい対策の実施後、6月28日午後2時36分頃、処理水の供給ポンプの運転を開始し、午後3時55分、循環注水冷却運転を再開しました。
- ・ 6月28日午後3時頃、滞留水処理施設の処理移送ポンプで出口フランジ部から水滲みを確認したため、午後3時45分、受け皿を設置しました。その後、滲み量の増加は確認されていません。
- ・ 6月29日午前8時10分、滞留水処理装置の注水冷却ラインのホースに微小な孔（2箇所）を確認したため仮補修を行なうとともに、午前10時59分、移送ポンプを停止した上でホースを交換し、午後1時33分、循環注水冷却運転を再開しました。
- ・ 6月29日午前9時30分頃、滞留水処理施設の淡水装置逆浸透膜濃縮水一次貯槽下部のドレン部からの水漏れを確認したため、午前10時30分、ドレンキャップを取り付け、水漏れを止めました。
- ・ 6月29日午後2時49分、サイトバンカ建屋において水漏れを示す警報が発生したため、午後2時53分、滞留水処理施設を停止しました。
- ・ 6月28日午前9時40分から午後3時29分まで、4号機原子炉建屋5階の放射線量低減のため、同号機原子炉ウェルおよび機器仮置きプールに淡水の注水を行いました。
- ・ 6月28日午後0時頃、6号機タービン建屋滞留水の移送先である仮設タンクの水位計（マ

- 6月29日午前11時45分頃、滞留水処理施設点検に向かう際、協力企業作業員1名が全面マスクにフィルタを付け忘れたまま約1分間、免震重要棟外に出ていましたが、付け忘れに気づいたため直ちに免震重要棟内に戻りました。その後、ホールボディカウンタを受検した結果、内部被ばく線量の値は極めて小さく身体へ影響のないレベルであることを確認しました。
- 安全の確保に向け全力を尽くすとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視しています。

以 上